

科目分類	助産学実践科目 実践・関連	開講時期	1年 前期
授業科目	助産管理 I		
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位 1.5時間
授業形態	講義		
担当教員	野々山 未希子		
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし・事前連絡必要

到達目標	<p>1) 助産管理の概要を説明できる。</p> <p>2) 母子に対する社会保障を説明できる。</p> <p>3) 災害時の助産師の役割と活動について説明できる。</p> <p>4) 助産業務に関連する医療事故について説明できる。</p>
授業概要	<p>助産師の活動に関わる管理の概念・概要および、活動について理解をふかめ、様々な場での助産師の役割と責任を学修する。</p>
授業内容	<p>第1回 助産管理の概要 助産管理の目的と概要、助産業務と管理</p> <p>第2回 助産管理の概要 日本の医療保険制度と母子に対する社会保障制度</p> <p>第3回 助産師の活動の場と助産管理 助産師の活動の場と法的根拠、助産師の活動の場</p> <p>第4回 助産師の活動の場と助産管理 助産師の管理業務、労務管理</p> <p>第5回 災害時の助産師の活動 災害時の助産師の役割、災害時の母子のケア</p> <p>第6回 災害時の助産師の活動 グループ討議、まとめ</p> <p>第7回 助産業務と医療事故 周産期の安全管理、助産業務に関連する医療事故、助産師の業務責任</p> <p>第8回 助産業務と医療事故 グループ討議、まとめ</p>
教科書・参考書等	<p>教科書：助産学講座10 助産管理 第6版. 医学書院 助産業務ガイドライン2019. 日本助産師会出版</p>

成績評価 基準・方法	参加態度・課題レポート 50% 最終レポート 50%
履修要件	特になし
留意事項・ その他	看護管理を復習しておくこと。助産学実習を通して、学びを深めること。 本科目を修得していないと、助産学実習 I II III IVは履修できません。